

エコアクション21 環境経営レポート



(四万十川)

(対象期間：令和5年6月～令和6年5月)

令和6年6月20日発行



株式会社 若竹組

高知県四万十市右山元町1丁目2-22

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境管理組織体制	4
5. 環境経営目標	6
6. 環境経営計画	7
7. 環境経営計画の取組状況	8
8. 環境経営目標の実績	10
9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	11
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
11. 代表者による全体の取り組む状況の評価及び見直しの結果の記録	14

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 若竹組

【代表者氏名】 山本 学

【所在地】 本社 〒787-0011 高知県四万十市右山元町1丁目2-22
竹島倉庫 〒787-0151 高知県四万十市竹島字ミノコシ
右山車庫 〒787-0015 高知県四万十市右山字ツエカ谷山

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 川西 宏幸
連絡先担当者 川西 宏幸 (竹内 広大)
連絡先 TEL : 0880-34-5087
FAX : 0880-34-0510
E-mail: wakatake@lilac.ocn.ne.jp (本社)
E-mail: kawanishi@axel.ocn.ne.jp (連絡先担当者)

【事業活動の内容】

建設業（主に土木、道路、河川工事を行っています。）

建設業許可 特定建設業 高知県知事 許可
許可番号 (特-3) 第5076号
許可年月日 令和3年6月29日

建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業
舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

産業廃棄物収集運搬業許可（自社施工分を対象）

許可番号 高知県知事許可 第03900013116号
許可年月日 令和5年12月27日

取扱う産業 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず
廃棄物の種類 木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず
コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)
がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

積込保管施設の有無：無

【事業規模】

設立年月日 昭和57年7月設立
資本金 25,000千円
完成工事高 372,700千円（決算時期 令和6年5月 工事等の件数10件）
従業員数 20人（令和6年5月現在）
事務所敷地面積 195.4m²
事業所延べ床面積 本社 196.4m²
倉庫 1245.1m²
車庫 916.2m²
事業所総延べ床面積 2357.7m²
（事業年度 6月～5月）

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

株式会社 若竹組 全社(全組織、全活動)

【レポートの対象期間】

令和5年6月から令和6年5月

【環境経営レポートの発行日】

令和6年6月20日

【次回環境経営レポートの発行予定日】

令和7年6月予定

【作成責任者】

環境管理責任者 川西 宏幸



【四万十市】

3. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社 若竹組は、豊富な山林資源と清流四万十川を有する高知県西部に位置しております。わが社の建設業における事業活動を通して地球環境に与える環境負荷の軽減、継続的な環境保全活動の推進してゆくため、全社員による環境経営を推進していきます。

環境経営方針

- 1, 当社の建設業における事業活動において環境に関する法規、条例を遵守します。
- 2, 建設機械、車輛等の燃料消費及び、本社の節電に努め二酸化炭素（CO2）の排出量を削減します。
- 3, 本社及び建設現場における廃棄物排出量の削減、分別及びリサイクルを促進します。
- 4, 本社、倉庫、現場における水使用量を削減し、排出量削減に努めます。
- 5, グリーン購入や調達を促進します。
- 6, 地域の環境に対する貢献やボランティア活動に、積極的に取り組みます。
- 7, 環境関連法規及び条例等を遵守し、全社員に周知を図り環境保全に努めます。
- 8, 建設業における事業活動においては、周辺環境に配慮した資材、工事の施工方法で取り組むとともに、全社員において作業環境に配慮し、環境に対する意識の向上を図ります。
- 9, 環境経営方針を達成するため、環境経営目標を設定し、全社員に周知徹底させ一致団結して取り組むとともに、定期的な見直しを行い、継続的な改善を図ります。
- 10, 環境経営レポート等環境情報については、広く外部に公表します。

制定日 平成24年10月30日

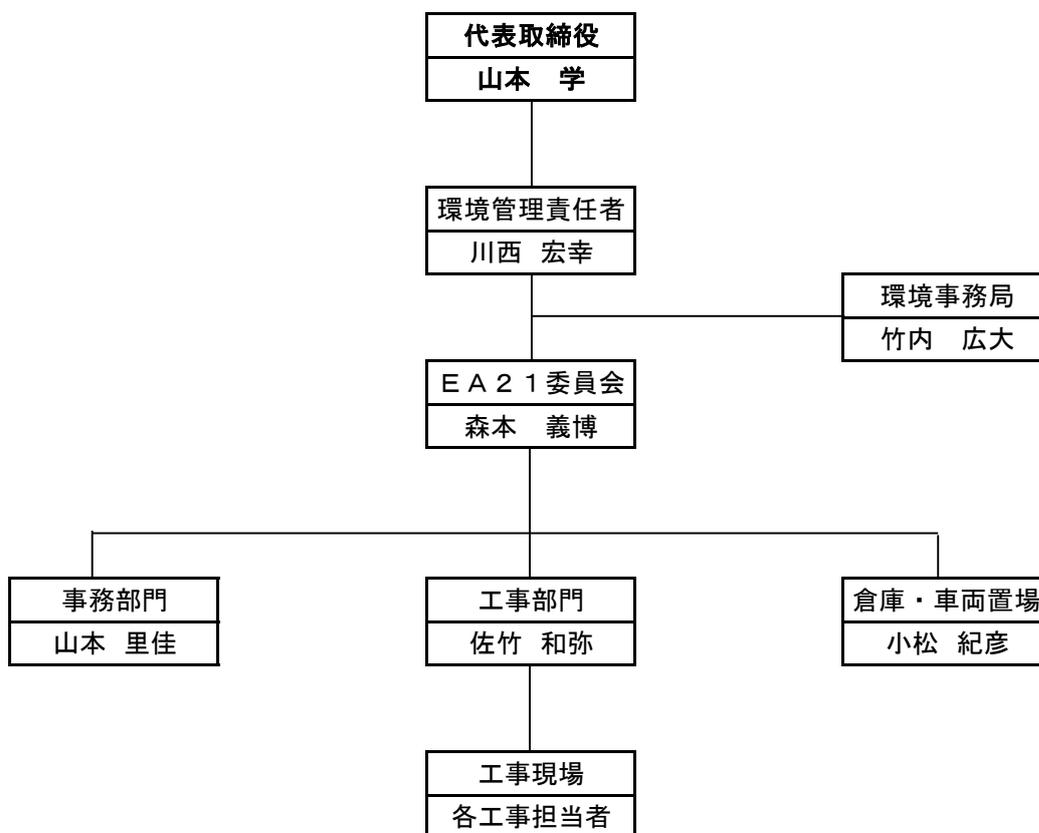
改定日 令和 2年 8月10日

改定日 令和 4年 7月28日

改定日 令和 5年 4月17日

株式会社 若竹組
代表取締役 山本 学

4. 環境管理組織体制



環境管理組織体制 役割・責任・権限表

責任者・担当部署	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全社員へ周知徹底 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境経営システムの実施に必要な資源を準備 ・環境経営システムの全体の評価と見直しの実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取まとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
エコアクション21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会事務局 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標の実績集計 ・環境関連の外部のコミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの確認作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知徹底 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点を発見、是正、予防処置の実施 ・ICT活用工事への取組の推進
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

(1) 単年度の目標

項目	単位	基準値	令和5年度の目標	備考 ()内%は削減率
		平成29年6月 から令和2年5月 3ヶ年の平均値	令和5年6月 から令和6年5月 の12ヶ月間	
化石燃料使用量				
軽油	L	53,705	51,020	(5%)
ガソリン	L	11,323	10,757	(5%)
灯油	L	448	426	(5%)
電力使用量	kWh	24,575	23,346	(5%)
ガス使用量	Kg	6.9	6.6	(5%)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	173,103	164,448	(5%)
水使用量	m ³	54	51	(5%)
産業廃棄物排出量	t	1,552	1,474	(5%)
産業廃棄物再資源化率	%	90	90	-
一般廃棄物排出量	t	1.30	1.24	(5%)
グリーン購入率	%	50	50	-
環境配慮資材	件	40	40	-
環境配慮工事	件	全件	全件	-
社会貢献活動	回	10	10	-

- ・電力のCO₂排出係数は平成30年 四国電力調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用。
- ・グリーン購入率(%)は事務用品購入金額に占めるグリーン商品購入金額の割合を示す。
- ・環境配慮資材については工事現場を想定。
- ・環境配慮工事は受注工事全体を対象とする。
- ・産業廃棄物再資源化率は平成25年度における実績を基準とする。
- ・一般廃棄物・グリーン購入率の基準値は平成25年度における実績とする。
- ・化学物質については、PRTR制度の対象になる物質がないため目標設定無し。

(2) 中長期目標

(現時点から3～5年先)

項目	単位	平成29年6月 から令和2年5月 3ヶ年の平均値	令和6年6月 から令和7年5月	令和7年6月 から令和8年5月	令和8年6月 から令和9年5月
		基準値	目標 (%)内は削減率	目標 (%)内は削減率	目標 (%)内は削減率
化石燃料使用量					
軽油	L	53,705	50,483(6%)	49,946(7%)	49,409(8%)
ガソリン	L	11,323	10,644(6%)	10,530(7%)	10,417(8%)
灯油	L	448	421(6%)	417(7%)	412(8%)
電力使用量	kWh	24,575	23,101(6%)	22,855(7%)	22,609(8%)
ガス使用量	Kg	6.9	6.5(6%)	6.4(7%)	6.3(8%)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	173,103	162,717(6%)	160,986(7%)	159,255(8%)
水使用量	m ³	54	51(6%)	50(7%)	50(8%)
産業廃棄物排出量	t	1,552	1,459(6%)	1,443(7%)	1,428(8%)
産業廃棄物再資源化率	%	90	90	90	90
一般廃棄物排出量	t	1.30	1.22(6%)	1.21(7%)	1.20(8%)
グリーン購入率	%	50	50	50	50
環境配慮資材	件	40	40	40	40
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	10	10	10	10

6. 環境経営計画

期間： 令和5年6月 ～ 令和6年5月

項目	具体的な取組内容	担当部署・責任者・担当者
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	不必要なアイドリングストップ	佐竹 各現場代理人
	アクセル開閉度80%で使用	
	エコ運転の心がけ	
	排出ガス対策型建設機械の使用	
電気使用におけるCO2排出量削減	こまめに電気を消す	竹内 各現場代理人
	長期使用しないものはコンセントを抜く	
	エアコンの設定温度の厳守(暖房20℃・冷房28℃)	
	PCも使用しないときは電源を落とす	
水使用量の削減	節水の呼びかけ	山本里佳 各現場代理人
	水道栓の締忘れ防止	
産業廃棄物排出量の削減	再生再利用に努める	各部門長 各現場代理人
	現場内で分別する	
	マニフェスト票による管理の徹底	
一般廃棄物排出量の削減	裏紙使用の徹底	山本里佳 各現場代理人
	こまめに分別する	
	ごみの資源化作戦に参加	
グリーン購入	グリーン製品の優先的使用	竹内
	従業員の周知徹底	
環境配慮資材	環境に配慮した製品の優先的使用	各現場代理人
	県内産資材の優先的購入	
	木製看板、木製型枠の使用	
環境配慮工事	現場周辺的环境整備	各部門長 各現場代理人
	各関係団体への工事概要の周知徹底	
	汚濁防止対策の協議、実施	
	工事着手前に環境配慮チェックを検討する	
	環境活動パトロールによる点検を実施する	
	四万十川等における、河川工事での多自然型川づくりの実績をふまえ、さらに環境に配慮した工事の施工方法の検討を行い提案する	
	ICT活用工事への取組	
社会貢献活動	ロードボランティアへの参加	竹内 各現場代理人
	現場での地域社会貢献	

7. 環境経営計画の取組状況

(1) CO2の削減、安全な作業の確保

① 燃料使用量の削減・安全な重機作業への取組



超低騒音・排出ガス対策型重機の使用による、化石燃料使用量の削減、3台の周囲監視モニター・人検知装置・機体停止制装置を備えた高い安全性。



工事車両の導入(散水車)
安全な作業性能、防塵処理
低燃費・低排出ガス車両。

② 電気使用量の削減



LED照明の継続
本社2階 LED照明の点検・継続。



LED照明の導入
工事における現場事務所への導



エアコンの定期点検・簡易点検
エアコンの効率向上、フロン排出抑制法における機器の点検・記録。

環境経営計画の取組状況

(2) 工事中の環境対策



汚濁防止対策(汚濁防止フェンス)



防塵対策(散水・洗浄)



工事現場周辺の除草



河川工事における構造物取壊し
取壊しにおけるコンクリート片の河川
への飛散防止フェンスの設置

(3) 社会貢献活動



本社合同
ロードボランティア(本社周辺、及び国道439号)による地域道路の清掃活動の実施。

(4) 啓発看板・ステッカー



啓発看板
CO2削減・STOP地球温暖化
リサイクルの推進・グリーン調達
省エネ活動。



啓発ステッカー
アイドリングストップ。
社用車(作業車・通勤車両等)

8. 環境経営目標の実績

本年度の実績及び目標達成状況 令和5年6月～令和6年5月

項目	単位	令和5年度の目標 新基準値比5%減	令和5年度 の実績	目標と実績と の差(増減)	目標達成状況
化石燃料使用量					
軽油	L	51,020	24,235	-26,785	○ 達成
ガソリン	L	10,757	5,668	-5,089	○ 達成
灯油	L	426	146	-280	○ 達成
電力使用量	kWh	23,346	25,554	2,208	× 未達成
ガス使用量	kg	6.6	6.0	-0.6	○ 達成
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	164,448	89,550	-74,898	○ 達成
水使用量	m ³	51	48	-3	○ 達成
産業廃棄物排出量	t	1,474	2,054	580	× 未達成
産業廃棄物再資源化率	%	90	98.8	8.8	○ 達成
一般廃棄物排出量	t	1.24	1.1	-0.14	○ 達成
グリーン購入量	%	50	50	0	○ 達成
環境配慮資材	件	40	40	0	○ 達成
環境配慮工事	件	全件	全件	-	○ 達成
社会貢献活動	回	10	10	0	○ 達成

※ 電力のCO₂排出係数は平成30年 四国電力調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用。

環境目標の実績評価と達成状況

軽油・ガソリン：達成、工事内容・規模による。

CO₂排出量：達成、工事の受注件数・内容により、軽油・ガソリン使用量の大幅な減が要因と考えられる。

電力使用量：未達成、本社・現場事務所における電力使用内容の変化による。

産業廃棄物排出量：未達成、工事内容・規模に起因する。

環境配慮工事：請負代金500万円以上の工事を対象とする。

社会貢献活動：ロードボランティア活動回数、現場における地域社会への貢献活動にて算出。

原単位の把握

項目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
完成工事高	百万円	304	395	518	369	372
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	159.1	159.4	134.2	107.1	89.6
完成工事高当り CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /百万円	0.523	0.404	0.259	0.290	0.241

※ 前年比において、工事の内容・規模等の変化によりCO₂排出量は減少、受注金額も増額しているため完工高当たりCO₂排出量が減少している。CO₂排出量は目標達成に至っている。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 令和5年6月 ～ 令和6年5月

項目	担当部署 責任者 担当者	具体的な取組内容	取組結果	評価	見直し
現場における 重機・車両の 使用によるCO2 排出量削減	佐竹 各現場代理人	不必要なアイドリングのストップ	良好	○	継続する
		アクセル開閉度80%で使用	良好	○	継続する
		エコ運転の心がけ	良好	○	継続する
		排出ガス対策型建設機械の使用	良好	○	継続する
電気使用にお けるCO2排出量 削減	竹内 各現場代理人	こまめに電気を消す	良好	○	継続する
		長期使用しないものはコンセントを抜く	良好	○	継続する
		エアコンの設定温度の厳守(暖房20℃・冷房28℃)	概ね良好	△	再度徹底する
		PCも使用しないときは電源を落とす	良好	○	継続する
水使用量の 削減	山本里佳 各現場代理人	節水の呼びかけ	良好	○	継続する
		水道栓の締忘れ防止	良好	○	継続する
産業廃棄物排 出量の削減	各部門長 各現場代理人	再生再利用に努める	良好	○	継続する
		現場内で分別する	良好	○	継続する
		マニフェスト票による管理の徹底	良好	○	継続する
一般廃棄物排 出量の削減	山本里佳 各現場代理人	裏紙使用の徹底	良好	○	継続する
		こまめに分別する	良好	○	継続する
		ごみの資源化作戦に参加	概ね良好	△	再度徹底する
グリーン購入	竹内	グリーン製品の優先的使用	良好	○	継続する
		従業員の周知徹底	良好	○	継続する
環境配慮資材	各現場代理人	環境に配慮した製品の優先的使用	良好	○	継続する
		県内産資材の優先的購入	良好	○	継続する
		木製看板、木製型枠の使用	良好	○	継続する
環境配慮工事	各部門長 各現場代理人	現場周辺の環境整備	良好	○	継続する
		各関係団体への工事概要の周知徹底	良好	○	継続する
		汚濁防止対策の協議、実施	良好	○	継続する
		工事着手前に環境配慮チェックを検討する	良好	○	継続する
		環境活動パトロールによる点検を実施する	良好	○	継続する
		四万十川等における河川工事での多自然型川づくりの実績をふまえ、さらに環境に配慮した工事施工方法の検討を行い提案する	良好	○	継続する
社会貢献活動	竹内 各現場代理人	ロードボランティアへの参加	良好	○	継続する
		現場での地域社会貢献	良好	○	継続する

■評価方法：毎月実施する環境活動パトロールにより点検を実施し、その結果により社内定例会において評価する。

■評価基準：○良好 △要経過観察 ×要訂正

(2) 次年度の取組内容

■次年度については、今回の12ヶ月間の取組内容を継続して実施するものとする。

環境経営計画

期間： 令和6年6月 ～ 令和7年5月

項目	具体的な取組内容	担当部署・責任者・担当者
現場における重機・車両の使用によるCO2排出量削減	不必要なアイドリングストップ	佐竹 各現場代理人
	アクセル開閉度80%で使用	
	エコ運転の心がけ	
	排出ガス対策型建設機械の使用、及び導入・更新	
電気使用におけるCO2排出量削減	こまめに電気を消す	竹内 各現場代理人
	長期使用しないものはコンセントを抜く	
	エアコンの設定温度の厳守(暖房20℃・冷房28℃)	
	PCも使用しないときは電源を落とす	
水使用量の削減	節水の呼びかけ	山本里佳 各現場代理人
	水道栓の締忘れ防止	
産業廃棄物排出量の削減	再生再利用に努める	各部門長 各現場代理人
	現場内で分別する	
	マニフェスト票による管理の徹底	
	資材等の無駄をなくすよう努める	
一般廃棄物排出量の削減	裏紙使用の徹底	山本里佳 各現場代理人
	こまめに分別する	
	ごみの資源化作戦に参加	
グリーン購入	グリーン製品の優先的使用	竹内
	従業員の周知徹底	
環境配慮資材	環境に配慮した製品の優先的使用	各現場代理人
	県内産資材の優先的購入	
	木製看板、木製型枠の使用	
環境配慮工事	現場周辺的环境整備	各部門長 各現場代理人
	各関係団体への工事概要の周知徹底	
	汚濁防止対策の協議、実施	
	工事着手前に環境配慮チェックを検討する	
	環境活動パトロールによる点検を実施する	
	四万十川等における、河川工事での多自然型川づくりの実績をふまえ、さらに環境に配慮した工事の施工方法の検討を行い提案する	
	ICT活用工事へ取組	
社会貢献活動	ロードボランティアへの参加	竹内 各現場代理人
	現場での地域社会貢献	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成者 川西 宏幸
作成日 令和 6年 5月 31日

法規名	規制内容	実施内容	遵守状況の評価	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第3条	事業者の責務：事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	委託契約の締結 許可の確認 マニフェスト票の交付、回収 照合の実施	遵守
	第11条	事業者はその廃棄物を自ら処分すること		
	第12条3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付		
	第12条3の7	マニフェスト交付状況報告書の作成及び高知県知事への提出		
第14条 第14条の4	産業廃棄物処理業（運搬）に係る許可 特管物管理責任者の配置			
建設リサイクル法	第9条 第10条	分別解体等の実施義務	各工事で分別解体計画 完了報告 再生資源利用計画の確認	遵守
	第16条	再資源化の実施義務		
資源有効利用促進法（リサイクル法）	第4条	事業者の責務	発注者への書面による 計画説明	遵守
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	周辺住民からの苦情無し	遵守
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	周辺住民からの苦情無し	遵守
四万十川の保全及び振興に関する基本条例	第4条の3	四万十川の保全、振興への寄与	着手前の届出、景観 自然共生社会の保全	遵守
四万十市土地環境保全条例	第4条	安全で良好な地域環境の保全	工事計画の届出	遵守
フロン排出抑制法	第3章 第42条	フロン類の排出抑制の為、機器及びフロン類の適切な管理 事前確認と報告、記録の保存	機器の点検・記録 事前確認の報告	遵守
廃棄物処理法施行規則	第7条 第8条	水銀使用産業廃棄物の適正な処理委託、保管基準	管理記録	遵守
石綿障害予防規則	第5条	石綿等の除去作業 工事開始前までに労働基準監督署に届出 事前調査の実施報告、記録	様式第1号で届出	遵守
大気汚染防止法	第18条 の6	特定粉じん発生施設等の届出 事前調査の実施報告、記録	記録の作成、保存	遵守

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反は有りません。 なお関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。
訴訟及び環境に関する外部からの苦情・要望等は有りません。

11.代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果の記録

代表取締役 山本 学
環境管理責任者 川西 宏幸

見直しに必要な情報（環境管理責任者からの報告）				代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項
取組状況の評価結果 ①環境関連法規等の遵守状況 環境関連法規の順守：良好 ②問題点の是正・予防措置状況 R5.6～R6.5の期間 2件 ③代表者の前回指示への対応 環境経営活動：積極的な取組、環境経営活動の継続 ※EA21ガイドライン：2017版				環境経営方針 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営目標及び環境経営計画の達成状況				コメント 環境経営方針の変更は行わない。 今後も環境経営方針の周知に努め 全社員にて積極的に環境経営活動 を継続させていく。
項目	環境経営目 標達成状況	環境経営 計画達成 状況	コメント	環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
電力使用量の削減	×	△	工事内容による	コメント 環境経営目標において、電力使用量 及び産業廃棄物排出量の目標は未達 成となっているものの、CO2排出量 の削減は達成されている。 工事の内容に左右されると考えられ るが、今後も積極的に環境経営活動 を行っていく。環境経営目標・環境 経営計画の見直しは行わない。
化石燃料使用量の削減	○	○	継続	
CO2排出量の削減	○	○	〃	
一般廃棄物排出量の削減	○	△	ゴミの再資源化の徹底	
産業廃棄物排出量の削減	×	○	工事内容による	
グリーン購入量	○	○	継続	
環境配慮工事	○	○	〃	
地域貢献	○	○	ロードボランティア 地域社会貢献等	
【改善への提案】 電力の使用量、産業廃棄物排出量が未達成となっているが、 工事の特性(内容・規模・場所)に大きく左右されると考えら れる。CO2排出量の削減は達成されており、引続き環境経営 目標の達成に取り組んでいく。				環境経営システム 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境関連法規等遵守状況				総括 エコアクション21における環境経営 活動に取組み、10年以上は経過する が環境経営システムは有効に機能し てる。今後も、これまで以上に活動 への取組みを、積極的に行ってい き地域社会に与える環境の不可の軽減 に努めていくこと。
遵守				
外部からの環境に関する苦情や要望				
なし				
代表者自ら得た情報				
特になし				令和6年6月19日 代表取締役 山本 学